

平成２８年度
産業経済局予算要求方針

【目次】

- 1 平成２８年度産業経済局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 平成28年度産業経済局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成28年度産業経済局予算要求総括表

【一般会計】

平成28年度要求総額 72,558,701千円
 (平成27年度予算額 86,902,347千円)
 ※ 中小企業融資を除く前年度比 + 3.0%
 前年度比 ▲ 16.5%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増 減 (A－B)
新規次世代自動車中核 技術研究開発・実証拠 点化事業	37,500	0	37,500
新規本社機能等移転・ 拡充支援事業	150,000	0	150,000
新規北九州スタートア ップ移住促進事業	34,948	0	34,948
新規中小企業人材確保 支援助成金	10,319	0	10,319
新規「(仮称)北九州市 版・地域しごと支援セ ンター」整備事業	4,000	0	4,000
拡充学生の地元就職促 進事業	24,173	0	24,173
新規G7北九州エネル ギー大臣会合開催事業	14,500	0	14,500
新規東九州道開通を契 機とした戦略的誘客促 進事業	9,839	0	9,839
中小企業融資	53,500,000	68,400,000	▲14,900,000
※中小企業融資については、平成26年度決算実績をふまえ、予算規模を見直したものであります。			

【卸売市場特別会計】

平成28年度要求総額 1,255,896千円
 (平成27年度予算額 848,600千円)
 前年度比 + 48.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増 減 (A－B)
公債償還繰出金	245,314	52,409	192,905

【渡船特別会計】

平成28年度要求総額 320,828千円
 (平成27年度予算額 702,500千円)
 前年度比 ▲ 54.3%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増 減 (A－B)
「こくら丸」新船建造事業	0	382,000	▲382,000

【競輪、競艇特別会計】

平成28年度要求総額 113,708,000千円
 (平成27年度予算額 114,054,000千円)
 前年度比 ▲ 0.3%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増 減 (A－B)
競輪事業	30,954,239	30,402,424	551,815
競艇事業	82,753,761	83,651,576	▲897,815

【産業用地整備特別会計】

平成28年度要求総額 2,797,502千円
 (平成27年度予算額 1,370,000千円)
 前年度比 + 104.2%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増 減 A－B
公債償還繰出金	2,468,014	1,060,114	1,407,900

【漁業集落排水特別会計】

平成28年度要求総額 131,769千円
 (平成27年度予算額 132,700千円)
 前年度比 ▲ 0.7%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増 減 (A－B)
漁業集落排水機能保全事業	99,000	104,000	▲5,000

(2) 平成28年度産業経済局経営方針

新成長戦略2期目のスタートにあたり、『稼ぐ力と雇用対策の強化』に力点を置いた戦略を明確に打ち出すとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現を目指す。

政策立案段階から、『選択と集中』を行い、メリハリをつける。

- ◆ 中小企業振興条例を受けた、小規模・中小企業対策の拡充
- ◆ 次世代自動車・ロボット・環境など、リーディング産業の強化による働く場の創出
- ◆ 新たなマーケット“シニア向けビジネス”等サービス産業の創出・育成
- ◆ 小倉城周辺の観光拠点化、インバウンド対策の充実などによる観光消費額倍増
- ◆ 国内でトップレベルのインセンティブによる企業誘致の強化
- ◆ 雇用の質の向上と人手不足対策強化

1 地域企業が元気に活動し続ける環境整備

- 中小・小規模事業者のニーズをしっかりと把握し、ニーズに応える新たな政策を打ち出す
- 若者や女性などの創業を支援し、ベンチャー企業等の創業倍増を目指す

2 高付加価値ものづくりクラスターの形成

- 次世代自動車、ロボット、環境など、リーディング産業を加速化させる新たな政策を打ち出す
- 中核企業に対し、個別に寄り添いながら、新分野進出や事業拡大などを支援する

3 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興

- “シニアビジネス”の創出・育成を図り、全国の高齢者需要を取り込む
- 小倉城周辺の観光拠点化の推進、魅力ある観光商品の開発などにより、本市での観光消費額倍増に取り組む
- リノベーションまちづくりを推進し、起業家や都市型産業の創出・集積を図る
- 新たな農林水産業振興計画を踏まえ、6次産業化の推進や若者・女性が参入しやすい環境づくりなどを行う。

4 首都圏からの本社機能の移転推進

- 国内トップレベルのインセンティブを打ち出し、首都圏からの本社機能の移転及び地元企業の本社・研究開発施設等の拡充を図る

5 雇用創出に向けて

- 非正規を正規にするなど雇用の質の向上に向けた新たな政策の実施
- CCRCとの連動など、首都圏からU・Iターン需要を取り込むべき、対策を強化する
- 地元大学を中心としたCOCプラスの取り組みや、「ゆめみらいワーク」などを通じ、地元大学・高校から、地元企業への就職率を上げる
- 中小企業の人材確保支援と製造業・建設業のイメージアップ

6 見直しの視点

- 各課の関連性の高い事業の1本化
- イベントの集約（小倉都心部）
- 他局との連携強化（環境分野など）
- サマーレビュー見直し項目の継続検討

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(単位：千円)

I 人を育てる ～子育て・教育日本一と創造性あふれる人材の輩出

2 アジアをリードする頭脳拠点の形成

(1)国際水準の知的基盤の強化

○公立大学法人北九州市立大学環境技術研究所整備事業 319,000

平成 24 年 3 月に設置された「環境技術研究所」について、環境技術の「先駆者」を目指し、地域産業の発展に貢献する研究開発拠点の形成を図るため、常設施設の整備を行う。

IV いきいきと働く ～競争力のある産業振興と豊かな雇用創出

1 高付加価値産業の創出

(1)知的基盤の充実と成長産業の育成

新規

○次世代自動車中核技術研究開発・実証拠点化事業 37,500

世界的に注目される自動運転の中核技術である人工知能に関する研究を加速し、研究開発・実証拠点化を図るため、関係団体との連携や実証フィールドの提供などの取り組みを強化する。

○ロボット産業振興プラン促進事業 24,000

「北九州市ロボット産業振興プラン」に基づき、地元製造業のロボット導入・生産性向上やサービス分野での開発実証に関する取り組みの強化・発展を図る。

○環境エレクトロニクス拠点化推進事業 87,000

環境エレクトロニクス研究所を運営し、大学や企業との連携により共同研究・受託研究や高度人材の育成などを行い、環境エレクトロニクスの拠点化を推進する。

(2)戦略的な企業誘致による新たな成長産業の集積

新規

○本社機能等移転・拡充支援事業 150,000

地方創生による本社機能等の地方移転の気運醸成の機会をとらえ、企業立地促進補助金に新たなインセンティブを創設し、企業誘致を図る。

新規**○採用支援を核とした企業立地推進事業 5,000**

1 拠点あたり 100 人～1,000 人の大規模採用、ほぼ全員が正社員採用（地域限定正社員含む）、新卒者を中心に採用、給与水準が首都圏と同等レベルを設定する企業に対し、採用活動を支援する。

○企業立地促進資金融資 3,030,961

資金が必要な企業に対し、融資制度を提供することにより企業立地を促進し、本市経済の振興及び雇用の創出・拡大を図る。

(3)ものづくりを支える地域企業の競争力強化**新規****○中核企業集積・活性化フォーラム 36,000**

地元中核企業の潜在能力の掘り起こしや、全国発信を通じた関連する全国の中核企業とのネットワーク化、企業間交流を推進する。

新規**○北九州スタートアップ移住促進事業 34,948**

地方創生の実現に向けては、起業促進が必要課題であり、平成 26 年度から「小さな起業」に対する支援を開始した。この動きを加速させるとともに、大手企業とスタートアップ起業家による事業創造の取り組みや、首都圏に向けた起業移住環境のPRを実施する。

新規**○中小企業人材確保支援助成金 10,319**

市内中小企業で構成された団体等が独自に取り組む業界の魅力等を伝える啓発や職場環境改善のための事業に必要な経費の一部を助成することにより、市内中小企業の最優先の経営課題の一つとなっている若者や女性等の人材確保を支援する。

新規**○ゲンバ男子運営事業 2,268**

市内中小製造業における深刻な人手不足やものづくり技術の伝承等の課題に対し、若年者の人材確保を支援するため、ホームページを通して製造業のイメージアップを図るゲンバ男子の事業を行う。

○中小企業融資 53,500,000

中小・小規模企業の資金調達にかかる負担を軽減し、円滑な資金繰りを支援するため、中小企業融資の金利引下げを検討する。

2 商業・サービス産業・農林水産業の振興

(1) 地域の個性を活かした商業の振興

新規

○大型空き店舗の活用による街なか賑わい創出事業 8,000

ギラヴァンツ北九州のファン拡大と新幹線口から小倉城口への回遊性の向上を図るため、小倉都心地区の商店街エリアの大型空き店舗を活用し、ギラヴァンツファンなどが街なかで集い交流する拠点となるスポーツバーの出店を促進する。

新規

○リノベーション空き家活用推進事業 20,925

リノベーションの手法を活用し、空き家情報の把握、事業者の発掘、モデルリノベーションを実施することにより、空き家に創業者やクリエイターを呼び込み、流通を促進し、まちに雇用とにぎわいを創出する。

(2) 市民が豊かさを感じる生活関連サービス産業の振興

新規

○北九州発！次世代包括ケアビジネス創造事業 7,500

地域包括ケアにおいて、民間事業者による公的保険外の新たなビジネスの創出のために、複数の市内事業者等が連携してモデル実証を行い、北九州発のビジネスモデルを構築する。また、市内福祉事業者の国際展開の可能性について、調査・検討を行う。

新規

○サービス産業まるごとカイゼン事業 10,000

製造業に比べて低いと指摘されるサービス産業の生産性の向上を図るため、独自のカリキュラムの作成、生産性向上の手法を学ぶスクールを行い、市内サービス産業の生産性向上、競争力の強化を図る。

(3) 農林水産業の振興

新規

○北九州市農林水産業振興計画実践モデル事業 3,000

平成 27 年度に策定する「北九州市農林水産業振興計画」（平成 28 年度～平成 32 年度）に盛り込まれている新規施策の実践や、国の「まち・ひと・しごと創生基本方針」の実現に向け、調査研究やモデル的取組を実施し、具体的な事業化に結びつける。

新規**○若者・女性農業参入サポート事業 4,222**

農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、新たな農業従事者を担い手として確保することが重要な課題となっている。そのため、若者や女性が農業に参入しやすい環境づくりを行う。

新規**○森林資源循環モデル事業 7,000**

市営林の伐採時期に達しているスギ、ヒノキを計画的に市場に出荷し、売払い収益を上げ、森林資源の循環及び停滞している本市の林業活動の活性化を図る。

新規**○小倉牛ブランド強化・増産支援事業 19,276**

本市の誇る小倉牛を絶やさないために複合的な取り組みを行い、畜産農家において小倉牛を安定的に増産できるシステムを作る。

新規**○北九州フードスタジアム開催事業 15,000**

平成 29 年 3 月予定の「北九州スタジアム」オープンを機に、J2 所属チームの地域の食・グルメを一堂に集め、新スタジアムのオープンを記念するとともに、全国へ北九州の食を通じた魅力発信と賑わいの創出を図る。

○水産物供給基盤整備事業 501,853

水産業の健全な発展及び水産物供給の安定化を図るため、整備が遅れている漁港施設を計画的に整備する。また、震災や近年の異常気象による漁港施設の被害を教訓として、漁村地域の防災機能を強化する。

3 多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進**(1) 多様な人材の育成と確保****新規****○大学・高校等との連携による地元中小企業とのグローバル人材育成事業 7,480**

地元の学生を海外で行われる商談会に参加させ、商談会の準備等の事業の一端を担わせることで、地元企業の海外展開支援と学生の地元企業への関心を高める。

(2)若者・女性・中高年齢者などの就業支援

新規

○「(仮称)北九州市版・地域しごと支援センター」整備事業 4,000

本市の若者と女性の就労支援の拠点とするため、既存の「若者ワークプラザ北九州」と、新たに設置する「(仮称)女性活躍推進センター(平成28年度設置予定)」を合わせ、「(仮称)北九州市版・地域しごと支援センター」として相互の機能強化を図る。

新規

○若者ワークプラザ北九州マッチング事業 11,500

地元企業での約1ヶ月間の『職場実習(OJT)』を核にした支援プログラムを実施することで、若者の早期就職と地元企業の人材確保を支援する。

新規

○アクティブシニア・ハローワーク(仮称)連携事業 5,000

国に対して「アクティブシニア・ハローワーク(仮称)の試験的設置」を要望しており、平成28年度中の設置に向けて国と連携して環境整備・広報活動を行う。

拡充

○学生の地元就職促進事業 24,173

大学生の地元就職を促進するため、新たに民間就職情報サイトを活用したマッチング機会創出や企業の採用力向上のためのサポートを行うほか、地元企業PR冊子を配布する。

○北九州ゆめみらいワーク事業 50,000

学生や保護者、教員等を対象に、地元企業の仕事内容や様々な職業の話を直接聞き、体験できるイベントを開催する。

拡充

○北九州で働こう!U・Iターン応援プロジェクト 41,678

本市へのU・Iターン就職希望者に対する、地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を総合的に実施する。また、即戦力人材に対する面接交通費などの助成金制度を新設する。

拡充

- 若年者雇用創造チャレンジ！！事業 25,750
地元企業の新分野進出等による新規採用及び非正規から正社員への転換について、当該人件費の一部を助成することで、若年者の正規雇用を促進する。

4 にぎわいづくりの推進

(3) ビジターズ・インダストリーの振興

新規

- G7北九州エネルギー大臣会合開催事業 14,500
伊勢志摩サミットの関係閣僚会合として平成28年5月に開催されるG7北九州エネルギー大臣会合について、万全のおもてなし体制で各国参加者を迎えるとともに、本市の先進的な環境・エネルギー施策や魅力を国内外へ発信するための取組みを行う。

新規

- 門司港レトロ環境美化推進事業 3,000
国内外から高く評価されている市内有数の観光地である門司港レトロ地区の美しい景観を保つため、除草や植栽などの環境美化を促進することで、ホスピタリティをより一層向上させ、観光地としての評価を高める。

新規

- 東九州道開通を契機とした戦略的誘客促進事業 9,839
平成28年春の全線開通を契機に、別府市・宮崎市と連携しつつ、民間とのコラボレーションなど多様な手法によるプロモーションを実施し、本市への観光客の誘客を図る。

Ⅶ アジアの中で成長する ～アジア諸都市との交流・協力と広域連携

2 物流基盤を活かした国際ビジネスの振興

(1) アジアのゲートウェイ機能を活かした国際ビジネスの促進

新規

- 北九州・ベトナム中小企業経営者交流事業 3,000
市内企業のベトナムでの更なる事業展開の支援及び両市中小企業経営者間のビジネス交流を推進するため、日本企業の経営手法の習得などを含めた事業進出・展開支援プログラムを実施する。

新規**○北九州ブランド海外展開支援事業 8,000**

市内で生産・販売される食品や食品加工品のほか、小倉織のような北九州発の伝統工芸品などを対象に、市内関連企業の海外への販路拡大を支援する。

卸売市場の活性化**新規****○経営展望・整備計画策定事業 9,873**

第10次卸売市場整備基本方針に基づき、新たな経営展望及び施設整備計画を策定する。

○市場施設大規模緊急改良 284,584

卸売市場整備計画に基づき、老朽化した施設の改修、修繕工事等を実施する。

市民、企業、NPO等との協働した事業展開**○竹材活用システム支援事業 5,000**

放置竹林の解消を図るため、竹が活用される出口戦略づくりに向け、竹の搬出に取り組むための生産団体やNPO、森林所有者等へ助成を行い、竹が安定的に供給・循環される仕組みづくりを行う。

○里海づくり推進事業 122,409

豊かな水産資源と生物多様性を持ち、市民が自然とふれあえる沿岸環境を実現するため、藻場・干潟の再生、漁場整備、魚介類の放流などを行い、漁業経営の安定化を図るとともに、市民へ新鮮で安全・安心な水産物を持続的に供給する。